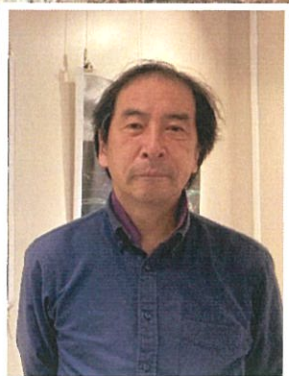


原発事故から12年

フクシマを忘れない!

さようなら原発北海道集会



写真取材報告

今も続く放射能汚染の現場から 12年間の不可解な国策を問う

フォトジャーナリスト **豊田 直巳** さん

福島第一原発事故から12年が経過しようとしています。原発事故による避難指示が徐々に解除されつつありますが、故郷に帰還する被災者もいれば、いまだに避難生活余儀なくされている人もいます。発災直後から福島で取材・撮影し、被災した住民と関わっているフォトジャーナリスト・豊田直巳さんを講師に迎え、福島原発事故の被災者がどのように12年間過ごしてきたのか、現在避難区域はどのようになっているかをお話しいたします。

日時 2023年

3月6日(月)

18:00~20:00

(開場 17:30)

場所 **北海道自治労会館**

5階 大ホール

札幌市北区北6条西7丁目

講師プロフィール

1956年静岡県生まれ。フォトジャーナリスト、ドキュメンタリー映画監督・制作。JVJA(日本ビジュアルジャーナリスト協会)会員。1983年よりパレスチナ・中東の取材を始める。その後カンボジア、アチェなど東南アジアや旧ユーゴ、コソボなどの紛争地を取材し、雑誌、新聞、テレビなどで発表。2011年の東日本大震災以降は、主に原発事故被害の取材を続けている。平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞受賞(2003年)。産経児童出版文化賞・大賞(2019年)。『福島に生きる凧ちゃんの10年〜家や学校や村もいっばい変わったけれど』(農文協 2021年)、『フォト・ルポルタージュ 福島 人なき「復興」の10年』(岩波書店 2022年)、『フォト・ルポルタージュ 福島 「復興」に奪われる村』(岩波書店 2019年)他多数。



「さようなら原発1000万人アクション北海道」実行委員会

事務局：北海道平和運動フォーラム ☎011-231-4157